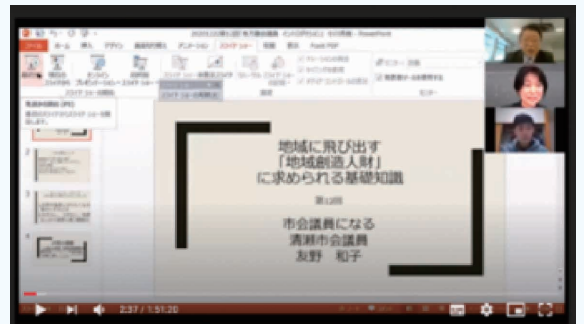


友野 和子

市議会だより No. 4 2021.1.21



昨年、清瀬市は市政 50 周年という節目を新型コロナウイルスの対応の中で迎えました。大型の台風が秋に到来しなかった事や青空が見え自然がもどったという認識は全世界的で、米ロサンゼルスでは「約 30 年の生活で見たことのない雪山の光景が見られる」。大気汚染が深刻だったインドでは「3 月の全土のロックダウン後スモッグが無くなり初めてヒマラヤを遠望したという若者（国の平均年齢 27 歳）が多かった」。SNS 上では「人が止まれば地球は健康に」などのコメントが飛び交った。コロナ自粛による偶然の出来事で、「きれいな空気を保つには人々の意識的な努力が必要だ」と認識し世界は動き出してきている。ニュースで米国の政権の行方を見ていると政治に関心を持ちデモをする姿が、香港や台湾の若者の行動と重なって見えた。昨年 12 月、同級生に頼まれて立教大学のオンライン講座を一日持ったり、孫と会った事でエネルギーを貰いました。今年はいろいろな方にお会いし、心と体を鍛えていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。



初めて ZOOM を使ったの講義に挑戦！

2020 年第 3 回定例会の一般質問より

SDGs から見たゴミ問題について

昨年は 10 月からゴミ袋の値上げ・個人住宅での戸別収集のスタートとコロナ禍が重なりゴミ問題を深く考える年となりました。私も市民の方と一緒にゴミ分別処理場施設に行き、戸別回収については「ゴミ業者と住民とのコミュニケーション・見守りサービスにつながっていく」という現場の声を聞き「これからの超高齢化社会を迎える時代の介護を補う仕組みの一つである」。またゴミ処理の再資源化の流れを調べていくと「ケミカルリサイクルなどエネルギー資源とごみ問題は SDGs の重要な課題である」事がわかり、先の時代を見据えたゴミ処理に関する柔軟な対応で市民と市に判断していくよう要望をしました。今後も引き続き見守ってゆきたいです。

教育関連施設における指定管理制度の在り方について

今回は学童の指定管理制度の移行にあたり、成功例の区から直接情報を得て、学童保育の勉強会で現状を掴み、市側に働きかけました。学童保育は、「働く場の環境を整える事」も大切ですが「預かる側と預ける側が、子ども達の事を考えるひとときを持つ事が大切」だと考えます。共働きで働く世代の地域のつながりをつくる事は地域の防犯や防災の対策にもつながります。実際コロナ禍においては学童の先生方と児童館・学校が一体となり学校閉鎖を乗り越えました。今後も清瀬市はそういったつながりを大事にし、市が責任や指導権を握った上で指定管理制度の移行（児童センターを含む）を要望。これからの南口の児童センターやコミュニティハウスが箱物に終わらないように関わってゆけたらと考えております。

みどりの行政について

市内を回ると大きくなった木に関する問題を抱えている人が多いことから、清瀬市の「みどり」の行政について「みどり」の維持管理・等を含め、活用法にも目を向けて質問。見えてきた点を伝えさせていただきます。

- ・近年、市内の「みどり」が整備されてきた裏には、CO₂ 削減にむけた国や都の方針の後押しがあり、他市より重点的に取り組んできた清瀬市は、大きくなった木の問題に対し「公共施設におけるみどりの維持管理の計画」を立てるなど、清瀬市は先駆的な市である。
- ・また、個人の家における木の管理については基本的に住民同士の問題である。（樹木を植えるにはその土地に合わせた大きさの木を植え、毎年剪定をする等。所有者の方が適正に管理することが必要である）
- ・雑木林や散歩道の整備は多くのボランティアによって約半世紀に渡り支えられてきている。

都市計画道路 3・4・15 の 2 号新東京所沢線について ～農ある風景を残すために

開発が進むこの道は、今後郷土資料館脇を通りケヤキロードギャラリーと農の風景が織り出す芸術的空間を突き抜けてゆくが、道路で分断される農地の今後を鑑みて質問をしました。

- ・新東京所沢街道は柳瀬川通り、ケヤキ通り、志木街道、新所沢街道にアクセスできる道で、車だけでなく秋津駅や清瀬駅から歩いてきた人も取り込める魅惑的な道である。市外の多くの人々が清瀬のまちを知る、新しい空間が生まれる事は確かだ、沿道に車でワンストップをしていく場を設けてゆく事は、市の発展につながるのではないかと（沿道の土地活用は、住宅以外には階層は 2 階・床面積 1500 m²までの事務所・店舗の建築が可能になる）

「みどり」としての農の役割について

清瀬市のみどり率は多摩六都全域と比較して一番高いが、農地率は他の地域の倍である（清瀬市の農家が生産緑地でみどりを守ってきたのがわかる）。2020 年 7 月の都の方針の中では、『都市に「あるべきもの」と位置づけられた中で農地を確保していくため生産緑地を維持継続し確保する必要がある（略）農業の継続が困難となった場合に備え、これからの機能が出来る限り継続して発揮できるよう都と市町村が連携して多様な施策を促進する（略）新たな農地の保全・活用の在り方を検討する』とあり、清瀬市もシティープロモーションとして農をかかげて取り組んでは？（今は中止となっている「ひまわりフェスティバル」「農業まつり」は地域の賑わいを創出している。）まずは、直売所を含んだウオーキングマップを既存のマップに入れ市のサイトにアップしてみてもどうか？

皆が農を楽しめる空間や農家さんを応援できる「清瀬からの元気発信マルシェ」が沿道に出来ないかな♥市議として 2 年が過ぎようとしています。選挙で掲げた清瀬の仕組みづくりを提案してみました。

清瀬自民クラブの渋谷のぶゆき氏が都議選自民党公認に決定しました。街づくり、豊かな住環境、清流を守るには、東京都との関係が極めて重要です。北多摩第 4：清瀬市・東久留米市合同で活動を始めており 1 月 19 日東久留米駅北口に事務所を開きました。

清瀬市から初の保守系の都議会議員を送り出してゆきたく応援しております。



2020 年 11 月「きよせ 100 年時代」が
コミュニティひまわりにオープン！

密をさけて中庭でカントリーダンスを踊ってエール
♥FACEBOOK 発信！♥